

ジーゼミで遊んでいます



で皆が思い思いに遊んで終了しました。こちらにも、木製で、しかも手作りということ、父兄からも大変好評でした。

親子で森林について考えたり、木と触れあう子ども達の笑顔から、短い時間でしたが、木の良さが伝わったのではないかと思う「一日先生」となりました。

各地のたより



一面銀世界での

堂ヶ森登山

〈ふれあい推進センター〉

二月二日、高知県黒潮町立三浦小学校の四く五年生の児童一六名が堂ヶ森に登山しました。

例年、この時期には、小学生を対象にした登山は行っていませんが、当校は今年度から「山の学習」を行っていることもあり、「是非、今年中に登山をしたい」との依頼を受けて、この時期の実施となりました。

今回の登山は、冬季とい

堂ヶ森で記念撮影



うことから、安全面を考慮し、一〇〇〇mを越えない山で、学校からも比較的近い堂ヶ森（八五六、九m）を選定しました。少し位の

雪が降ることも、想定し行うこととしました。案の定、当日は、この冬の寒波到来により、一面が銀世界の中での登山となりました。

途中の「四万十のヒノキ仙人」で休憩しながら、樹齢約二五〇年の天然ヒノキの説明をしましたが、実際に見た児童はその大きさに驚いていました。

雪が木の葉に積もっていることから、登山道沿いの樹木の名前などの説明は殆ど出来ませんが、児童達は登山道沿いの雪景色を楽しみながら約一時間かけて堂ヶ森の頂上を目指しました。

堂ヶ森山頂のお堂では、「堂ヶ森」の名前の由来や「森林の大切な働き」について説明し、お堂周辺は多いところで五cm程も積雪があったので、雪だるま等を作ったりして、楽しく遊びました。

その後下山し、バスの中の昼食。予定していたゲームは取り止めて、各児童からの「堂ヶ森」や「森林に関する」こと等についての質問に答えることになりました。

暖かい地域で住んでいる児童達は、学校周辺で雪が積もることなどほとんどないので、銀世界の中での貴重な登山を体験することにより、自然の良さや大切さを十分感じてもらえたと考えています。



檜仙人の説明

クリスマス
木工クラフト教室
 〈ふれあい推進センター〉

一二月一〇日、高知県宿毛市立小筑紫小学校で五年生二一名を対象に本年度五回目の木工クラフト教室『クリスマスドアノブ飾り』（以下ドアノブ飾り）作りを行いました。



クリスマスドアノブ飾り(見本)

電動糸鋸ノコ、うまく切れるかな



始めに、「木材の特徴」と題して、木の長所は軽くて丈夫なこと、加工しやすいこと、湿度や温度を調整すること、短所としては、性質がすべて同じでないこと、シロアリ等の被害を受けやすいこと等について学習し、木の重さの比較実験も行いました。

その後、職員が電動糸鋸の安全な使い方や注意点を説明した後、作製に取り掛かりました。児童達は、四班に分かれて「ドアノブ飾り」作りを行い、当センターの職員や先生の手助けを得て、板の円形部分を切断しました。また、紙やすりや色とりどりのポスター



電動糸鋸ノコは、このように使うんだよ

カラー等を使用し、休憩時間も忘れる程、夢中になり約二時間半の作品作製に取り組みました。児童達は、完成した作品を見せ合ったりして、とても満足そうな表情でした。

後日、小学校から送られた児童の感想文には、「リグナムバイタ（世界一重たい木）は、とても重たくてびっくりしました。」「ドアノブ飾り作りは、最初は難しかったけど、楽しく作れて、以外に綺麗にできました。」「ドアノブ飾り作りの準備、大変だったと思うけど、ありがとうございました。自宅に飾ります。」等の感想があり、森林や木材へ少しでも関心を持つても

らい、また、理解の一助になれたと職員一同喜んでいきます。

森林教室及び

マツボックリツリー

〈保育所等三ヶ所を実施〉

〈徳島森林管理署〉

一月二日、徳島県石井町立藍畑幼稚園において園児五三名、一月二七日、小松島市立和田島保育所において園児三〇名、十二月



マツボックリツリー

八日、石井町立高原幼稚園において園児五一名を対象とした森林教室及びクリスマスツリー製作を行いました。

なお、藍畑・高原の両幼稚園については、当署が一〇月の「山と木と緑のフェア二〇一四」にブースを出展した際、両園の先生方と材料提供等の情報交換をしていく中で森林教室の依頼を受け実施となりました。

最初に、当署が、どのような仕事しているのか説明しました。

次に、森の大切さを知ってもらうため、「紙芝居」を行いました。紙芝居は、「暗くて食べ物も無い森を

紙芝居の様子【高原幼稚園】



動物たちが立ち上がり、人間と協力してもとの明るく

素晴らしい森に戻す」といった話です。森は、手入

れをしないと災害が多くなったり、木の実や柔らかい葉をつける植物が育たないこと等を伝えました。

また、大王松のマツボックリやモミの球果、マツの

種子やモミの葉等、普段、あまり目にしない自然のもの

の手にとつて、触ったり、臭いを嗅いだりしてもらいました。その後、動物にまつわるクイズを行い、県内にはたくさん動物がいることを説明して、森の大切さの学習を終わりました。続いて、お待ちかねのマツボックリを使ったツリー作りです。

まず、園児達に、ツリーになる部分の大きなマツボックリ「スラッシュマツ」を選んでもらい、木の実で飾り付けをします。

始めに、マツボックリに色を塗り、ドングリやノグルミ、ツバキやチャノミ等にも色を塗り、いろんな種

類の木の実を飾り付けて個性的な作品が出来上がっていききました。最後にマツ

ボックリツリーに木の幹を付け、丸太切りで作った輪切りの土台に取り付けて完成です。

今回、学習したことを覚えてもらうことと、作ったツリーをいつまでも大切に



紙芝居の様子【和田島保育所】

マツボックリツリーできたよ

【藍畑幼稚園】



【藍畑幼稚園】



飾ってもらう約束をして森林教室を終わりました。最後に、今回実施した三ヶ所の保育所等には、モミの葉で作ったリースをプレゼントしました。今後とも材料提供や講師の派遣等、地域の関係各機関等の要請に応えつつ、森林環境教育を行っていきたいと考えています。

クリスマスリース上手にできたよ【芝原児童館】



一月一日、徳島市立芝原児童館において一年生から六年生の児童二〇名、一月七日、徳島市立佐古児童館において児童五〇名

**クリスマスリース
作りに今年も挑戦！**
〜三つの児童館で〜
《徳島森林管理署》

パネルを使って森林学習【佐古児童館】



パネルを使って森林学習について説明を行いました。世界的に見ても日本には豊かな森林がたくさんあり、国内で比較しても徳島県の森林率は日本の上位に位置することを説明しました。

その後、ニホンジカの増え過ぎによる樹皮剥離や下層植生の被害について、山から採ってきた丸太

及び保護者、一月二〇日、徳島市立西富田・新町児童館において児童二〇名及び保護者を対象に森林教室及びクリスマスリース作りを行いました。

まず、森林教室では、パネルを用いて徳島県の森林や、モミの香りにリラックス

お母さんと仲良く製作中、楽しいな【西富田・新町児童館】



ス効果があること等について話をし、普段、触れることのない自然について理解してもらい、森林が私たちの生活に密接に関わっていることを、見て聞いて触れ

て実感してもらおうことができました。その後、モミの葉を用いたクリスマスリース作りに挑戦してもらいました。あらかじめ短くカットした

モミの葉を、丸く整え形作ったカズラに差し込んでいくものです。その工程が終了すると、ドングリや金や銀に着色したマツボックリ、赤い色がリースに映えるサルトリイバラの実などを飾り付けていただきました。保護者の方にも参加してもらい、親子仲良く作品を作り上げました。最後には、皆満足し

た様子で作品を家庭に持って帰りました。

今回、三ヶ所の児童館には、マツボックリで作ったクリスマスツリーを贈り森林教室は終了しました。

今後も、このような森林教室を継続的に実施していくことで、徳島県の子ども達に自然の大切さや環境への意識を持ってもらえるように努めていきます。



一二月二四日、徳島県小松島市立目佐児童館において児童一二名を対象とし

た森林教室及びクリスマスリース作りを行いました。

始めに、森林が私たちの生活に密接に関わっていることを学んでもらうため、紙芝居を行いました。森林にはたくさん動物が住んでおり、山の木を伐ったり手入れすることは、動物たちにとっても私たち人間にとっても大切なことだということを学んでもらいました。その後、ニホンジカの

被害により、樹皮剥離被害を受けたリョウブやネズミヤリスに食べられたマツボックリを実際に触れてもらい、クイズを出しました。子ども達は初めて触れる自然物に、時には声を上げながら楽しく森林について学

んでくれました。その後、クリスマス作りに取り掛かりました。ベースとなるカズラに

直接飾り付けを行うもので、早速、児童達は思い思いの木の实やマツボックリを手に作業を開始しました。低学年の児童には当署職員や児童館の先生がサポートし、針金やホットボ

ポットし、



上手にできたかな、クリスマスリース

ンドで飾り付けを行いました。たくさんの木の実をつける児童や、キャラクターを描いて作品の一部にする児童等、個性を發揮したとても楽しい作品に仕上がりました。児童達からはとても楽しかったとの言葉ももらい、森林教室は盛況うちに終了しました。

最後に、目佐児童館には、マツボックリで作ったクリスマスツリーを贈り、児童館に飾ってもらうことになりました。今後も地域の要請に応えながら、森林環境教育を実施して行きたいと思



「2014ウツディフェスティバル&さぬ木の暮らしフェア」に参加
《香川森林管理事務所》

一二月六日、七日の両日、サンメッセ香川（高松市）において、「2014ウツディフェスティバル&さぬ木の暮らしフェア」が開催されました。

二七回目となる今年、木材需要拡大のために、林業・木材関係者に加え、家具や建具を取り扱う事業者にも協力を呼びかけ「さぬ木の暮らしフェア」と合同開催となったもので、出展企業三三社による各種展示や即売会等が行われました。

クリスマスリースの手作り教室大盛況



当所は、毎年このイベントに参加しており、今年は「緑の募金に協力いただいた方を対象にしたクリスマスリースの手作り教室」と

「パネル展示」を行いました。

クリスマスリースの手作り教室は一月上旬の開催

ということもあって両日ともに大人気となり、一時待ちの行列ができたほどの大盛況の中、子供も大人も感性豊かな様々な形のリースを完成させ、二日間で

九三組のリースが出来上がりました。材料の収集や事前

準備においては所職員の大変な苦労がありました。この大盛況ぶりには苦労が報われるイベントとなりました。

また、緑の募金は約一九、〇〇〇円が集まり、イベント

終了間際に、真鍋所長より「公益財団法人」かが

わ水と緑の財団」の長田緑化推進事業課長に募金の贈呈を行いイベントを終了しました。

今後もこのようなイベントを通じて、森林や国産材の利用について少しでも関心を持っていただけた方が増えることを願っています。



真鍋所長（左側）より、かがわ水と緑の財団」の長田緑化推進事業課長に募金の贈呈